

# まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.20

まちづくり  
を考える

ちよまつ ひろやす

## 泉佐野市議会議員 千代松 大耕 (30歳)



### 国家プロジェクトの 達成を目標に!!

第43回衆議院議員選挙が11月9日に行われましたが、私が所属する自由民主党は追加公認を含めまずと過半数を超え、また比例区におきましても前回より370万票を上積みし、得票率を7%増やしました。現行の小選挙区制度のもとでは自民党にとって獲得した議席数は最高となり、現在の小泉改革路線が多くの国民に支持された結果となったと考えます。「国を創り上げていく」とときには、中央集権型の大きな政府によって国家としての全体的な底上げを行いますが、「国としての水準がある一定のレベルに達した」とときには地方分権型の小さな政府による自己責任社会への移行が必然の流れであります。小泉改革はこういった

時代に合わせて改革の途中であります。しかし改革というものは一朝一夕に成るものではなく、中長期的なスパンが必要であります。「地方でできることは地方にまかせ」という小泉改革の流れの中にあつたとしても国↓府↓市というお金の流れは依然として顕在しております。地方自治体の地域間競争が激しくなる中、国際空港があり、橋を渡れば世界が広がっているという条件は他の自治体と比べて大きなアドバンテージとなっております。関西国際空港の2期工事は何としても円滑に進めていかなければなりません。またこの泉州南地域に

おいては泉佐野市から岬町までの合併の議論が行われようとしております。合併が実現すれば、国道26号線は新市の大動脈となり、さらなる延伸が必要となります。こういった国家プロジェクトが多いこの地域からは、やはり政権政党の国会議員が必要と考え、衆議院選挙におきましては自民党系の候補者を支援いたしました。が、民主党に議席を奪われるという私にとっては非常に残念な結果となりました。しかし私自身としては今後も自由民主党のネットワークを活かし、地域の夢を実現するために前述した国家プロジェクトの達成を目標として参ります。

### 平成14年度 決算特別委員会

11月5日(水)から7日の3日間、平成14年度の各会計歳入歳出の審査をする決算特別委員会が開かれました。平成14年度の普通会計の決算は歳入が373億

9,196万円、歳出が398億8,325万円、前年度に比べて、歳入で31億2,842万円、歳出で28億4,185万円の増加となっており、翌年度へ繰り越す

款	支出額	構成比
議会費	3億 3,651万円	0.8%
総務費	47億 2,151万円	11.8%
民生費	103億 3,524万円	25.9%
衛生費	43億 4,146万円	10.9%
労働費	5,037万円	0.1%
農林水産費	5億 1,306万円	1.3%
商工費	1億 7,920万円	0.5%
土木費	61億 9,543万円	15.5%
消防費	13億 632万円	3.3%
教育費	31億 5,020万円	7.9%
公債費	59億 6,834万円	15.0%
前年度繰上充用金	27億 7,786万円	7.0%
災害復旧費	775万円	0.02%
合計	398億 8,325万円	100%

1,664万円を除いた実質収支は25億793万円の赤字となっております。昨年度までの累積赤字が28億3,620万円でしたので、単年度的には3億2,827万円の黒字となっております。平成14年度に策定した財政健全化計画は順調に進んでおりますが、不況の影響による市民税の減収や地価の下落による固定資産税の減収が響き、平成14年度では大幅な基金の取り崩しや、基金からの借り入れを行いました。3日間の慎重審査の結果、決算特別委員会では最終日の採決において平成14年度の各会計歳入歳出決算の認定を可とすることとなりました。



# 泉州南合併協議会設置

泉佐野市では10月24日(金)に開催されました臨時議会におきまして、法定合併協議会設置の議案が可決し、また同日に開催されました泉南市、阪南市、田尻町、岬町の臨時議会におきまして、同様の議案が可決され、この地域の合併協議会である「泉州南合併協議会」が設置されることになりました。この協議会では宮本勝浩大阪府立大学経済学部長が会長に、泉南市の向井通彦市長が副会長になられます。泉佐野市議会からは重信正和議長、鎌野博副議長、そして市町村合併検討委員会の委員長の前と松浪武久副委員長が協議会の委員として選出されました。12月1日(月)に第1回目の協議会が開催され、月に一回程度のペースで合併に関する協議を進めていきます。この泉州南に

おける合併は合併特例法の期限である平成17年3月までの合併を目標としていますが、既に田尻町、阪南市、岬町が来年夏に住民投票を実施して住民に合併の是非を問うと決定しており、そういった各自治体の動向が合併へのキーポイントとなると考えます。



● 市政勉強会にて

## 千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA Program 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了

- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選

## 「市政勉強会」

泉佐野市青年団協議会では、毎年、市議員や市長を招いて「市政勉強会」を開催されています。今年私は私が講師として招かれ、「次代のキーワード」というテーマで前半は議員に立候補した経緯、そして後半は地方分権・市町村合併・NPO・PFIについての講演をさせていただきます。また講演にきていただいた青年団の方々にアンケートを

取っていただき、その中には泉佐野市政に対して「無駄を省き有効なお金の使い方をしてほしい」「市町村合併はいい考え」「泉佐野市に力ジノを！」「祭りをもっと盛り上げてほしい」などの若い世代からの意見を書いていただきました。私はこれらの意見をもとに、これから身としてこれからの参考にしていただきたいと思います。考

連絡先 泉佐野市松原2-5-31  
 TEL 58-1708  
 FAX 69-0311  
 ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>  
 メール [chiyoma51@hotmail.com](mailto:chiyoma51@hotmail.com)  
 発行部数累計 321,000部 2003.11第20号

\* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。